
苦しみの果てに

大美 雪翔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

苦しみの果てに

【Nコード】

N4688P

【作者名】

大美 雪翔

【あらすじ】

高校生活はある意味人生の分岐点。そんな主人公ひかるはある女の子と知り合う。それが淡く切ない物語の始まりだった…

始まり（前書き）

ちよくちよく書いていきます。まああんまり期待しないでみてって下さい。

始まり

もし…自分の本当に大切な人が、自分自身を恨み、嫌っていたら、自分はどうしますか？これはノンフィクションのようでフィクションのような話。男女の淡くせつない物語。

く新しい自分く

「今日から俺も高校生かあ」

彼は藤村ひかる、今日から高校一年。

「ひかるー！ご飯の支度できたからちゃっちゃと食べて行ってきなさーい！」

「はいはい！…ったく、高校生なんだからそんな言われなくてもわかってるっ…」

「あんだなんか言った？」

彼の母親の文子、なかなかしつかりものだ。

「いえ！なんもー！」

「ならいいけど、はいはい！食べ終わっただならさっさといくー！」

「ふーい、いってきます。」

「気をつけてね」

彼は足早に家をでていった。

そんなこんなで彼の高校生活は始まった。

分岐点

キンコーンカーンコーン

「やっと終わったー!」

入学式から5日たった今、すでに授業が始まっていた。

「ひかるー、はよサッカーいこうぜ」

ひかるに話しかける彼の名前は山田けんと、ひかるのクラスメイトであり部活も一緒だ。

「おう!」

彼等はサッカー部に所属したのだ。

「そつえばさ、俺の友達でサカマネ入ろうか迷ってる奴いるんだけどさ、ひかる、お前誘えよ。」

ひかるは は? となつてとりあえず

「写メみせろ、それによる」

といった。

「まあまた送つとく!アド送るついでにな。」

「よろしゅ」

この会話がひかるのこれからを変えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4688p/>

苦しみの果てに

2011年10月8日12時13分発行